



静岡県警本部長から五輪・パラ警備に協力で感謝状

令和3年11月5日に、静岡県警本部長から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備において、当支部の協力により警備活動に憂いなく専念することにより、警備目的が完遂できたとして感謝状が贈呈されました。

これは、6月3日に県警オリンピック・パラリンピック対策課と当支部で、テロや風水害などの発生時に当支部の施設、会員ディーラーの電動車の借上げに関する協定を締結したことに基づいたものとなります。

6月23日から3日間行われた県内の聖火リレーや、7月23日の自転車競技「男子ロードレース」を皮切りにオリンピックは13日間。パラリンピックでは9日間の競技が県内で行われましたが、常時連絡が取れる体制を維持しておりました。

こうした地道な活動に対し、このほど県警本部長が感謝を示し、感謝状の贈呈に至りました。

県警本部長の代わりに、オリンピック・パラリンピック対策課の八木課長より当支部の芹澤支部長に感謝状を手渡していただき、芹澤支部長は「無事に終わって良かった。今後も県警と協力しながら車両を通じて市民の安心安全を作り上げたい。」と話しておりました。

